

8 自然的環境等

本町の気候は、昼夜、夏冬の寒暖差が大きく、降水量が比較的少ない内陸性気候に分類される。年間平均気温は 11℃前後であり、四季を通じて日照時間が長い。夏季は冷涼で、冬季は積雪が少ないため、厳しい寒気に見舞われる時期を除けば、比較的暮らしやすい環境である。

長野県は山地と盆地の境界部に数多くの活断層がみられるが、本町には活断層がなく、地震による被害が比較的少ないとされている地域である。

都市計画区域内における緑被地面積は 4,761.5ha であり、内訳を見ると、樹林地が 3,319.4ha と最も多く、全体の約 70%を占めている。次いで農地が 1,428.3ha となっており、緑被地の大部分は樹林地および農地によって構成されている。このことから、都市計画区域内の緑被環境は、主として樹林地と農地によって形成されており、都市環境の保全、景観形成、生態系の維持において重要な役割を担っているといえる。

(1) C0803 緑の状況

表 8-1 緑の状況

|        | 緑被地面積   |         |      |         | 水面面積 |
|--------|---------|---------|------|---------|------|
|        |         | 樹林地     | 草地   | 農地      |      |
|        | ha      | ha      | ha   | ha      | ha   |
| 都市計画区域 | 4,761.5 | 3,319.4 | 13.8 | 1,428.3 | 79.2 |

資料：C0302 土地利用現況

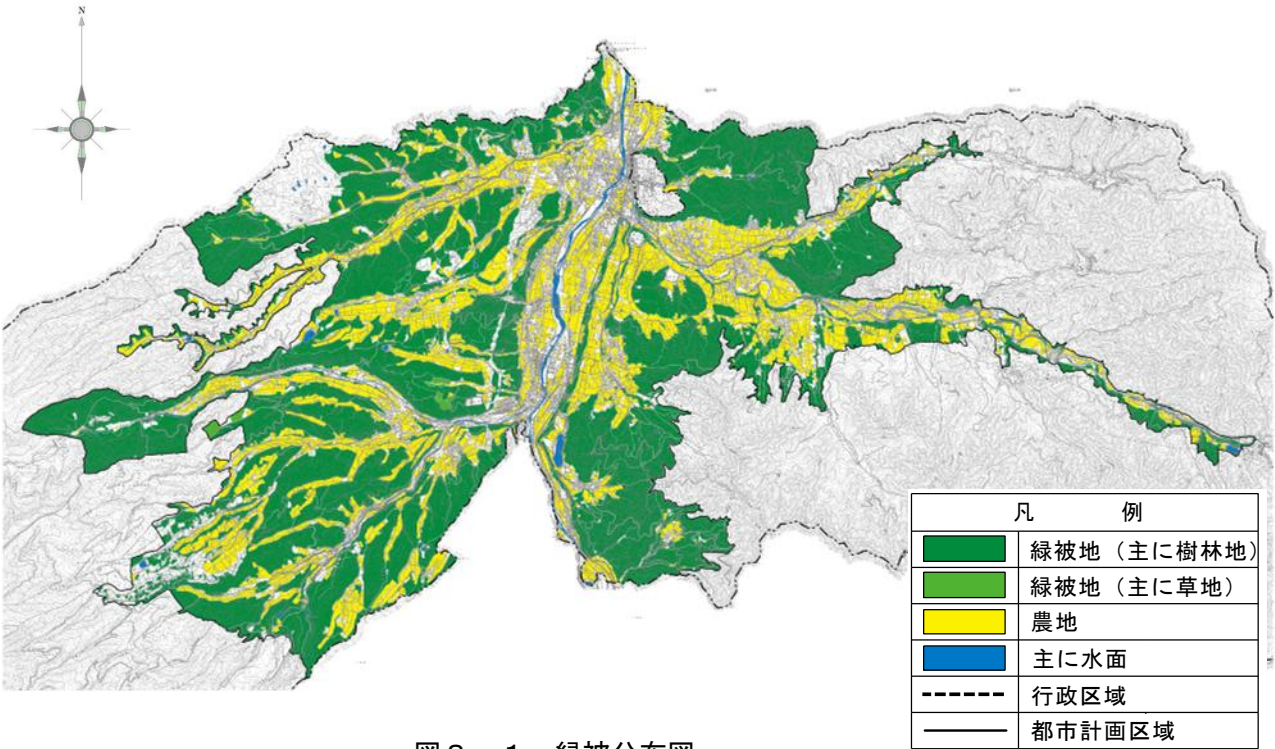


図 8-1 緑被分布図